



愛知教育大学未来基金

—ご案内とご協力のお願い—



愛知教育大学
未来基金Webサイト

愛知教育大学未来基金へのご支援のお願い

愛知教育大学は、明治6（1873）年に愛知県養成学校として設立され、以来一貫して有為な教員の養成を第一の目的とし、教育研究の充実を図ってまいりました。令和5（2023）年に一つの節目となる創基150年を迎え、先輩諸氏がいくつかの困難を乗り越え発展させていただいたことに敬意を表するとともに、次なる50年を見据えて今後も大学と附属、地域社会の皆様と協働し、「創基150周年を迎え、新しい形の教員養成に挑戦し教職の魅力を高め、未来につなぐ！」を新たなコンセプトとして、使命を果たしていきたいと考えています。

近年、本学を取り巻く環境は、教育DX、少子化などの社会変化が進み、それに対応した新たな学校教育が求められています。特に課題となっているのが、小・中学校や高等学校の教員不足です。教員養成大学の入試倍率も低下傾向にあります。質の高い教員を確保するには、教職の魅力向上を図ることが重要です。本学では令和3年3月に「未来共創プラン」（愛知教育大学中長期ビジョン・目標・戦略）を策定し、学長就任時にキャッチフレーズとして掲げた「子どもの声が聞こえるキャンパス」、「地域から

頼られる大学」の実現に向けて、取り組んでいるところです。

また、地域社会と協働する新科目「地域協働教育体験」をカリキュラムに位置付けました。社会に貢献できる有為な人材を育成するためには、学習環境づくりやカリキュラムの工夫のみならず、学生への修学支援や国際交流による多文化理解などが必須であります。本学の財政は、国からの運営費交付金や学生の授業料等によって賄われておりますが、更なる財源が必要であり、広く内外の皆様方からのご寄附を募り、財政基盤の強化・拡充を図りたいと考えております。つきましては、何卒本趣旨をご理解いただき、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国立大学法人愛知教育大学学長

野田 敦敬



愛知教育大学未来基金について

愛知教育大学未来基金は、子どもたちの未来を拓くことができる教員の養成と、学校教育を支援する人材の育成に資することを目的とし、皆様からのご寄附をもとに、教育研究活動に関する支援事業、修学に関する支援事業、国際交流の推進に関する支援事業、教育研究環境に関する整備事業などに取り組んでいます。多様な基金がございますので、巻末に掲載の未来基金事務局までご相談ください。

◆ 教育研究基金（一般基金）

教育研究基金は、課外活動で優秀な成績を収めた学生の表彰や、海外の交流協定大学から受け入れた留学生の支援、本学から交流協定校への留学者の支援、大学院生の学会発表に伴う交通費の補助など幅広く学生支援を行っています。

寄附者様より

愛知教育大学の、有為な教員の養成という第一の目的に対して、微力ではありますが賛同申し上げます。（一般の方）



寄附者様へ感謝状の贈呈

◆ AUE修学支援基金

AUE修学支援基金は、経済的な理由で修学に困難がある学生に対し支援を行うことにより、意欲と能力のある学生が希望する教育を受けられるよう支援することを目的としています。経済的な理由で修学に困難がある学生への学資支援奨学金の給付や、学資負担者の死亡・倒産・解雇などにより家計が急変し、修学が困難となった学生への緊急支援奨学金の給付などを行っています。

寄附者様より

卒業生として、母校の益々の発展を祈念しております。後輩となる皆様には、愛教大で学んだこと・愛教大を卒業したことを誇りに思える、そんな学生生活を送ってほしいと思います。（卒業生）

◆ プロジェクト等使途限定基金

プロジェクト等使途限定基金は、教育研究基金やAUE修学支援基金と別に特定の目的の事業を実施するため、寄附者様が使途を特定する寄附金です。 ※（例）子どもキャンパスプロジェクト

◆ 附属学校園支援事業基金

附属学校園支援事業基金は、附属学校園の施設・設備・教材・図書等教育学習環境の充実や周年事業の実施など、附属学校園に特化した支援に使わせていただきます。

◆ リサイクル募金

読み終えた本・DVD・ブランド品をご提供いただき、その査定換金額が未来基金に寄附される取り組みです。

令和5年度事業収支の状況

受入の部	金額（千円）	支出の部	金額（千円）
前年度繰越高	79,230	①学生表彰該当学生への報奨金	30
受入額	24,049	②愛知教育大学奨学金ひらく	1,300
<内訳>		③留学生・研究者受け入れ	1,750
・教育研究基金（136件）	5,869	④本学学生の留学支援	450
・AUE修学支援基金（384件）	8,511	⑤海外学校体験	1,170
・創基150周年記念事業寄附（106件）	9,669	⑥国際交流推進	880
		⑦多文化体験活動	190
		⑧視覚障がい児教育研究	506
		⑨創基150周年記念事業	11,058
		⑩職員表彰	26
		⑪附属学校教員の大学院学費補助	200
		⑫銘板・事務費ほか	1,242
		<小計>	18,802
		次年度へ繰越	84,477
計	103,279	計	103,279



未来基金を原資とした学生支援

本学では皆様からいただいた寄附金を原資として、課外活動で優秀な成績を収めた学生の表彰や経済的な理由で修学が困難な学生への支援など、様々な学生支援を行っています。

■ 学生表彰受賞学生への報奨金

愛知教育大学学生表彰規程に基づき、課外活動等において特に顕著な成績を挙げた学生や団体への報奨金を支給しています。

第2回全日本学生フルコンタクト空手道選手権大会 | 部女子軽量級 優勝

この度は未来基金からのご支援をいただき誠にありがとうございました。

全日本学生フルコンタクト空手道選手権大会（通称：インカレ）で、第1回大会・第2回大会どちらも勝ち抜くことができ、2連覇できたことを嬉しく思います。これも、普段から指導してくださる先生方、一緒に稽古をしてくれる仲間たち、支えてくれる家族、応援してくださる方々のおかげであり、感謝で胸がいっぱいです。

4年生も文武両道を胸に、空手道も学生生活も励んでいきたいと思えます。

（学校教員養成課程 義務教育専攻 4年生学生）



■ 国際交流推進支援事業

交流協定大学への本学学生の留学支援事業や、交流協定大学からの外国人留学生等の受け入れ事業などへ支援を行っています。

受給学生より：派遣留学生



この度は派遣留学へのご支援を賜り、誠にありがとうございました。留学を検討している際、金銭面が大きなハードルでした。未来基金の存在が留学への挑戦を後押ししてくれました。留学開始時には既に円安が進んでいたため、奨学金のおかげで負担の少ない留学ができたと思います。

台湾留学はとても濃く充実したものでした。師範大学には常に100人以上の交換留学生在籍し、色々な国の友達を作ることができました。常に中国語を話す環境にいたことで、語学力は飛躍的に向上したと思います。友達作りのために入った柔道部では、最終的に全国大会で個人3位に入ることができました。

大学入学と同時に新型コロナウイルスが流行し始め、大学生活は思うように楽しめていませんでしたが、この留学は自分の人生の宝物になったと思います。

（初等教育教員養成課程 4年生学生

国立台湾師範大学へ留学）

受給学生より：受入留学生

私はインドネシアからの交換留学生です。奨学金を得ることができたので、日本に留学するという私の大きな夢のひとつが叶いました。この度は、愛知教育大学未来基金奨学金の支援をいただき、誠にありがとうございました。6か月間（2023年4月～2023年9月）未来基金奨学金の受給者として選ばれ、大変光栄に思っています。そのおかげで、愛知教育大学での勉強を楽しむことができ、経済的にもとても助かりました。ありがとうございました。

愛知教育大学でチャレンジをするために、別の日本語教育の授業を受けました。ここでは教育・文化や社会生活など、多くのことを学ぶことができました。奨学金での支援をいただくことができたおかげで、食事・寮費・保険料や移動のための交通費などを奨学金で賄うことができました。そして、日本での留学の生活がどんどんうまくなりました。

最後になりましたが、ご支援して下さったすべての方々に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

（国立スラバヤ大学からの交換留学生）



■ 留学支援事業、留学生・研究者受入事業として8人の学生に奨学金の支給を行いました。またその他国際交流事業に関して支援を行いました。

■ 愛知教育大学奨学金ひらく

本学独自の返還不要な奨学金です。

- ①学資支援奨学金（授業料免除を申請している者で、家計基準の全額免除適格者のうち授業料免除が受けられなかった者に対する奨学金）
- ②緊急支援奨学金（特別な事情により家計が急変し、修学が困難になった者に対する奨学金）

受給学生より

父が昨年7月に他界しました。今後どう前向きに生きていこうか不安でいっぱいだったとき、「ひらく」のご支援をいただきました。皆様が背中を押してくださっているようで、経済的、精神的に大変支えになりました。ありがとうございました。

皆様の温かいお気持ちと、生前、教師になることを心待ちにしていた父の姿を胸に頑張ります。

（緊急支援奨学金受給学生）

ご寄附の手続きについて

愛知教育大学未来基金へのご寄附は、インターネット・金融機関・本学財務課窓口での手続きによるご寄附となっています。本基金の趣旨をご理解いただき、複数口のご協力をいただければ幸いです。

○ご寄附をお願いしたい金額 一口 1,000円で三口以上でお願いいたします。

※お申し込みいただいた方の個人情報、基金関係事業のみに使用させていただきます、個人情報は適切に取り扱います。

インターネット

クレジットカード決済、コンビニ決済、pay-easy決済の3種類からお選びいただくことができます。

インターネットでご寄附をされる方は、愛知教育大学未来基金Webサイト「ご寄附の手続きについて」内の「インターネットからのご寄附はこちら」のボタンよりお手続きをお願いします。

※ご寄附受付完了後は、お取消し・ご変更・ご返金はお受けできませんのでご注意ください。

※コンビニ窓口での返金対応は行っていません。



ご寄附の手続きについて

金融機関

「教育研究基金」「AUE修学支援基金」「プロジェクト等使途限定基金」「附属学校園支援事業基金」のいずれかを選択のうえ、ゆうちょ銀行の「払込取扱票」にて払い込みいただくか、下記の口座へのお振込みをお願いいたします。ゆうちょ銀行以外の金融機関をご利用される場合は、寄附者氏名・住所等の確認が困難な場合がありますので、愛知教育大学未来基金Webサイト「ご寄附の手続きについて」内の「ご寄附の事前連絡フォーム」に住所等を記入のうえ送信してください。（特に基金のご指定がない場合は、AUE修学支援基金へのご寄附とさせていただきます。）

ゆうちょ銀行

□座記号番号	00830-9-61182
受取人□座名義	国立大学法人愛知教育大学

三菱UFJ銀行

□座番号	刈谷支店 普通 1313348
受取人□座名義	国立大学法人愛知教育大学

財務課窓口でのご寄附

本学財務課出納係へ直接ご持参ください。 平日 8:30~17:00 TEL: 0566-26-2147

寄附金に対する税制上の優遇措置

寄附者が個人様の場合

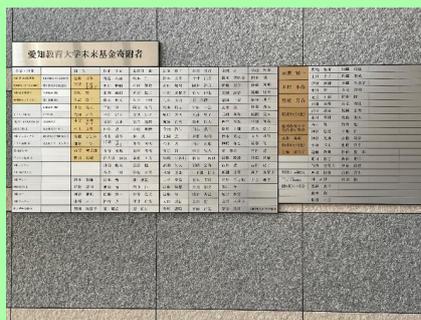
- ・「AUE修学支援基金」にご寄附いただいた方は、「所得控除」または「税額控除」のどちらか有利な方を選択することができます。
- ・「教育研究基金」「プロジェクト等使途限定基金」「附属学校園支援事業基金」にご寄附いただいた方は「所得控除」のみの適用が受けられます。

寄附者が法人・団体様の場合

寄附金の全額を事業年度の損金に算入することができます。

寄附者顕彰について

累計10万円以上ご寄附いただいた方の銘板を作成し、本学本部棟玄関ホールにて永く顕彰しています。また、ご寄附いただいた方々のご芳名を大学ホームページに掲載させていただいています。掲載を希望されない場合は、ご寄附の際に「払込取扱票」や事前連絡フォームにて、その旨お知らせください。



銘板



ご寄附いただいた方へのお礼品 (10万円以上ご寄附の方)

愛知教育大学公式
マスクットキャラクター



お問い合わせ： 愛知教育大学 未来基金事務局（広報課内）
〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
TEL: 0566-26-2139 E-mail: kikin@.auecc.aichi-edu.ac.jp